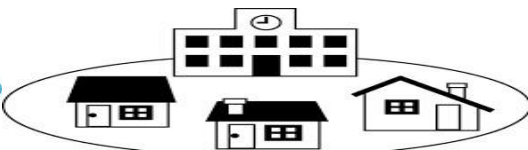


とうせい コミスク便り

Web版は
こちらから



令和7年9月25日
9月号

9月18日（木）に第2回学校運営協議会を行いました。中間学校評価の結果分析、1学期に行われた全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果の分析、そして生徒指導の現状などを踏まえた2学期の学校経営について熟議を行いました。

☆学校評価（中間） 成果と課題

R7 中間 求める子どもの姿に対する自己評価・取組評価 肯定的評価(1+2)の割合

◎成果

【評価】 A 90%以上 B 80%以上 C 60%以上 D 60%未満

目標	児童=自分の姿	教職員=学校の取組	保護者=家庭の取組
1	100% 学校に 楽しく通っている	93% 主観的なウェルビーイングの状況を把握し、学校教育全体を通じて子ども達のウェルビーイングの向上を図る	94% 96% お子さんの学校生活に関心をもち、学校で楽しかったことなどを家庭で話題にしている
2	100% いじめは許されないと考えている	100% 一人一人の様子、児童同士の関係を把握すると共に、支持的学級風土の集団づくりに努める	100% 98% 家庭での様子の変化に気を付けたり、友達関係の把握と良好な関わり方のアドバイスをしたりする
3	90% 明るく元気にあいさつしている	93% 明るく元気な挨拶の指導と示範をする	100% 95% 明るく元気な挨拶の指導と示範をする
4	90% 友だちと助け合いながら、仲よくしている	96% グループ的活動を設定し、協力し合う姿勢を身に付けさせながら、子どもたちのよりよい人間関係の形成に努める	100% 99% 家族団らんの時間を大切にしながら、相手を思いやる気持ちを育てる

●課題

目標	児童=自分の姿	教職員=学校の取組	保護者=家庭の取組
8	85% 家で勉強している	85% 宿題を出したり、家庭学習の仕方を教えたりする	100% 73% 「家庭学習の手引き」を活用し、家庭学習の習慣化を図る
9	75% 本にふれている(教科書以外)	72% 本を読む環境を整えたり、機会を設定したりして、日常的に本に触れるように努める	100% 57% 本を読む環境を整えたり、一緒に読書を楽しんだりして本に触れる機会をつくるよう努める

学校運営協議会委員からのご意見

- 「学校が楽しい」の項目は引き続き高いが、100%を目指してほしい。楽しさは、学校生活だけでなく、学習面での充実が鍵になるかもしれない。
- 東聖小の児童は地域でも元気に挨拶をしてくれる。お互いに顔を認識できるよう、これからも積極的に関わっていききたい。

部会ごとの意見交流概要(推進部・支援部・評価部)

推進部～校内で要望があれば、コミスクだよりで東聖地域に学習ボランティアの募集をしていく。

支援部～田んぼの学校やスノーラフティングでお手伝いできる方を増やしていきたい。

評価部～読書の保護者評価が低いのは、お子さんが実は学校で本を読んでいることを知らないからなのではないだろうか。設問の文面を更に工夫していく必要がある。

**5年生
ミシン学習
ボランティア
募集!**

「とうせいコミスク便り」6月号でも案内しましたが、5年生の家庭科で、10月末から11月にかけてミシンを使った学習のボランティアを募集します。平日の日中のボランティアとなりますが、お手伝いいただける方は学校（0166-83-3055 窓口：広瀬）までご連絡ください。